

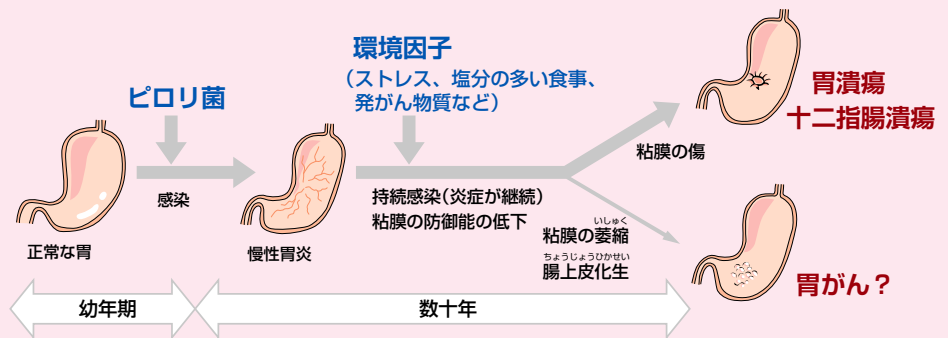
ピロリ菌の検査と除菌治療のおすすめ

ピロリ菌に感染するとどうして胃潰瘍や胃がんになるの？

ピロリ菌は、主に幼年期までに経口感染すると考えられています。感染経路としては、衛生環境が疑われています。感染したからといって、潰瘍や胃がんが必ず発症するわけではありません。

しかし、感染した人はほとんどの人に胃炎が起こります。除菌しないかぎり、ピロリ菌は胃の中に住み続け、慢性的に炎症が続きます（慢性胃炎）。

慢性胃炎では、胃の粘膜を防御する力が弱まり、ストレスや塩分の多い食事、発がん物質などの攻撃を受けやすい無防備な状態となります。つまり、ピロリ菌は胃・十二指腸潰瘍、胃がんを起こしやすい下地をつくってしまうわけです。しかし、多くの人は潰瘍や胃がんを発生せずに慢性胃炎の状態で一生涯を終えます。



ヘリコバクター・ピロリ菌の早期発見と除菌による胃がん予防事業

ピロリ菌を検査で早い段階で発見して、除菌で萎縮性胃炎発症の可能性を阻止することは、確実に胃がんのリスクを減らすことになります。

◆費用は無料！

市では平成24年度から平成28年度までの5年間全額助成（無料）しております。

対象者は、年度内に20～39歳になられる方です。

ただし、対象年齢であっても、下記の方は対象外となります。

- ・胃潰瘍や十二指腸潰瘍の治療を受けているか 治療経験のある方
- ・すでにピロリ菌除菌治療に成功した方（除菌後の判定まで受けた方）
- ・現在、胃がんの治療中の方

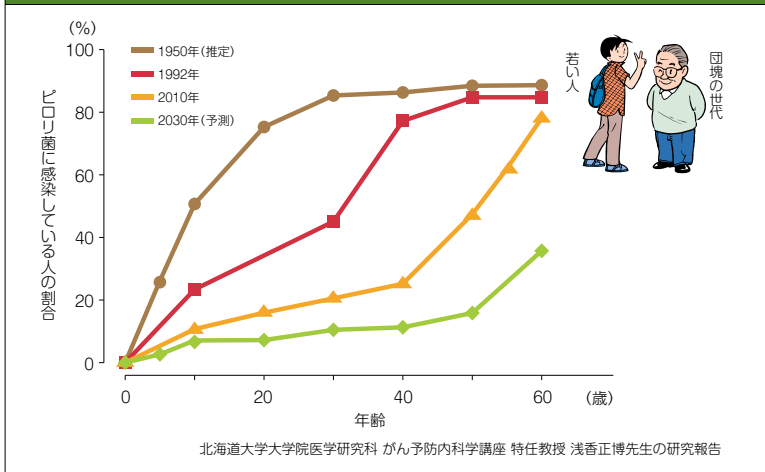
平成24～26年度 胃カメラ検査所見数 (受診者 220人)

所見	人数
萎縮性胃炎	169 ^人
鳥肌胃炎	15
その他の胃炎	19
胃潰瘍	5
胃癌	0
胃ポリープ	0
腸上皮化生	3
十二指腸潰瘍	22
逆流性食道炎	1
1～9以外の異常	8
(延数)	242

平成24～26年度 便中ピロリ菌抗原検査結果集計表

年齢	初回				一次除菌後				二次除菌後				三次除菌後		
	受診者	陰性	陽性		受診者	陰性	陽性		受診者	陰性	陽性		受診者	陰性	
	(人)	(人)	(%)	(人) (%)	(人)	(人)	(%)	(人) (%)	(人)	(人)	(%)	(人) (%)	(人)	(人)	(%)
20～24歳	264	239	90.53	25 9.47	11	6	54.55	5 45.45	2	2	100.00	0 0.00	0	0	0.00
25～29歳	385	346	89.87	39 10.13	20	13	65.00	7 35.00	7	6	85.71	1 14.29	0	0	0.00
30～34歳	531	451	84.93	80 15.07	50	32	64.00	18 36.00	13	13	100.00	0 0.00	0	0	0.00
35～39歳	776	635	81.83	141 18.17	96	65	67.71	31 32.29	24	23	95.83	1 4.17	1	1	100.00
総数	1,956	1,671	85.43	285 14.57	177	116	65.54	61 34.46	46	44	95.65	2 4.35	1	1	100.00

日本人のピロリ感染率の過去と将来予測



◆若い人ほど成功率が高い！除菌治療

胃炎の初期の方、軽度の方ほど、除菌による胃がん予防効果大きいことがわかっています。

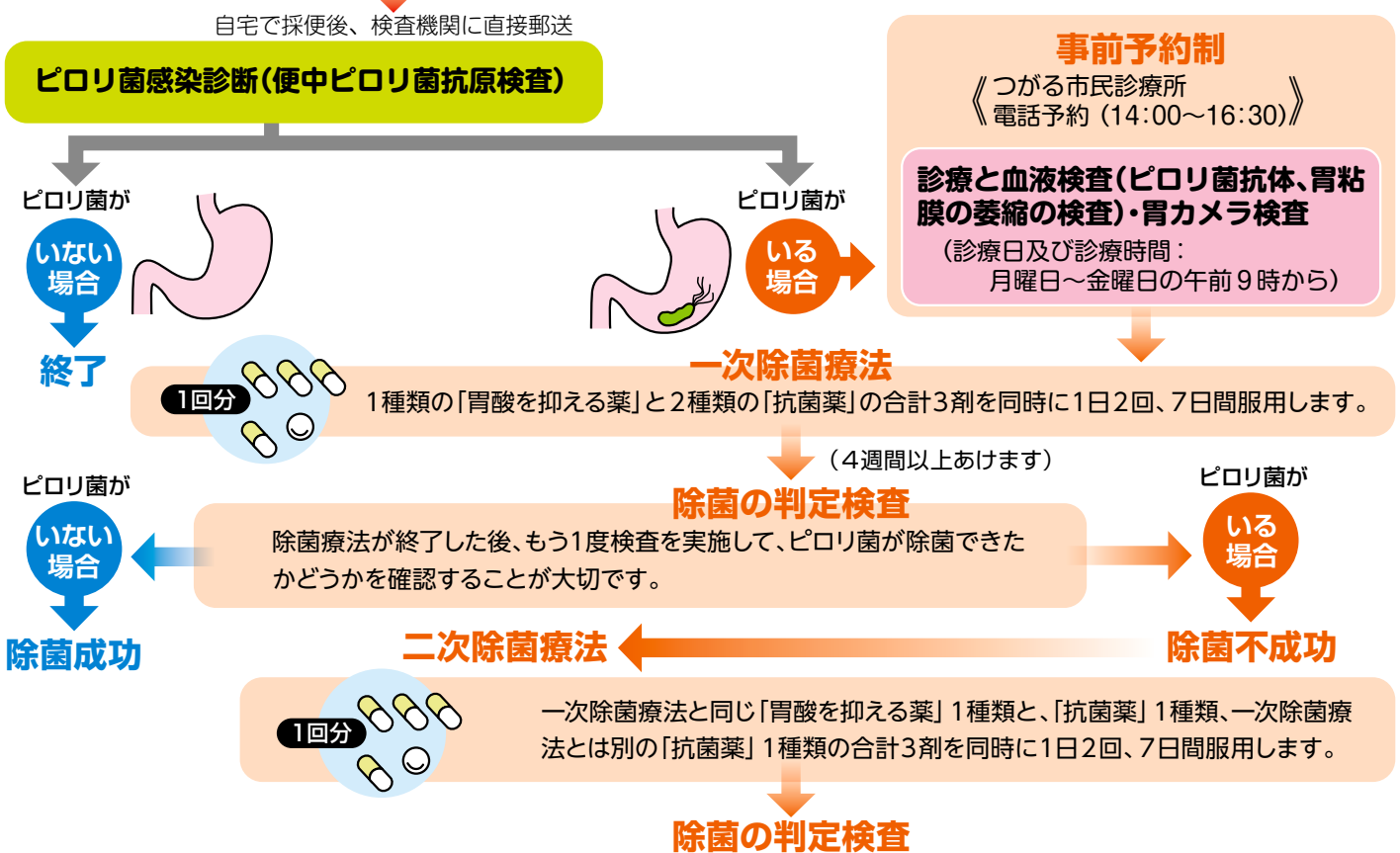
<ピロリ菌除菌治療の成功率>

年代	男性	女性
30歳代まで	ほぼ100%	
40歳代	93%	98%
50歳代	76%	92%
60歳代	50%	84%

わが国では、上下水道が十分完備されていなかった時代に生まれ育った団塊の世代以前の人のピロリ菌感染率は約80%前後と高いのですが、衛生状態の良い環境で育った若い世代の感染率は年々低くなっておりま。

◆事業の流れ

希望者に採便キット送付



◆お申し込み方法 ~ ①又は②のどちらかの方法でお申し込み下さい。

① 健康推進課に電話でお申し込み下さい。 ☎ 42-2044 (直通)

② 下記の【ピロリ菌検査申込書】でお申し込み下さい。

受付場所：健康推進課、稲垣・車力出張所、すまいるプラザ (イオンモールつがる柏内)

【ピロリ菌検査申込書】

住所	〒 つがる市		
氏名			
生年月日		電話番号	